

山行報告

★草戸山(2022年4月10日)

参加者 会員(障害者2名、健常者2名)

コロナ禍でアルプの活動が中断していたが、ようやく2年ぶりの山行の開始になった。

天気は快晴で風もなく、初回の山行に相応しい天候となった。高尾山口の駅前は朝からたくさん登山者で賑わっていた。しばらくして、今日の参加者の人たちと会い、登山口までどうするか相談した所、少し距離はあるが国道沿いを歩くことにした。登山口は有名な料亭うかいに行く途中にあり、その周辺の斜面ではすでにニリンソウがたくさん咲いていた。



ニリンソウの咲く登山道を登る

西山峠までは初め舗装された道を歩き、緩やかな登山道に入って行く。小さな沢を渡りながら登っていくと、前から声をかけられた。その人は伴走をするバンバンクラブの人で、地元なので登山道や花畑の手入れをしていると話をしてくれた。少し登っていくと、そこはニリンソウの花畑になっていた。今日はまだ満開ではなかったが、広い斜面一面に咲いていたので初めて来た人はきっと感動するだろう。参加者は

思い思いに写真を撮った後、峠へ向かった。



ヤマリソウ

峠でひと休憩した後、目的地の草戸山方面に向かった。稜線を歩いて右側には津久井湖とどかな里山の風景が見えた。展望台では城山湖と都会の街並みを望むことができたが、空は春霞でかすんでいた。しばらくして、ちょうどお



草戸山山頂にて

昼時間に草戸山に到着した。ここは、休憩場所やベンチが多く、他の人と距離をおいて食事する事ができた。参加の深澤夫妻にはコー

ヒーと甘いお茶菓子まで頂き、ありがたく頂いた。萬代さんも交えてお互いに話をしていると、時間が経ちいつもより長めの昼休憩となった。

草戸山から少し下って行くと、歩いて左側に

は高尾山の山並みを見ることができた。所々に山桜の様が見えたが、花のピークは過ぎたようで色あせて見えた。高尾山口駅までの下り道にはいくつかのアップダウンや段差があり、木々の根も結構張っていたので、視覚障害者にはサポートがないと歩きにくいと感じた。萬代さんには登山の途中で色々花木の話をして頂き、普段なら見過ごしてしまうクロモジの葉はいい香りがして、花も咲くなど教えて頂いた。

下山口から高尾山の表参道に出ると、人が多

★筑波山(2022年5月21日)

参加者 会員(障害者4名、健常者5名)

アルプ再開 2 回目は筑波山、皆さん朝から元気に集合。久々の参加の MT さん、一緒だったときのことを覚えていた AS さんの記憶力に脱帽。つつじヶ丘から登り始めると、皆さんいろんな花に注目。ハルジオン、オオイヌノフグリ、ニワゼキショウ…いやいや全部街中で咲く外来種の代表ではないですか！ せめてその横の在来種のコウゾリナにご注目を！ NK さんが今日はこれを覚えると宣言。その先にはつつじ類は老化してましたが、サワフタギは若々しく満開…花から人生を感じながらの序盤です。



つつじヶ丘にて

そろそろ休みたいなと思っているところで茶屋跡に到着。一輪だけ立派なクリンソウに驚

くこれまでの山の静けさが?のように思われた。無事、午後3時前に高尾山口駅に到着した。行きの登山口まで歩くことにしたので、予定より遅い到着時間になったが、今日一日のんびりとした楽しい山行となった。 記：加登

コースタイム

高尾山口駅(9:20)…登山口(10:00-10:10)
…西山峠(11:00)…草戸山(12:15-13:00)
…高尾山口駅(14:50)

きながら再スタートすると、すぐに大きな切り株。年輪に札がついており、明治とか天明の飢饉など読取れます。樹齢は400年くらいだそうです。



弁慶七戻りを通過する

続いて弁慶七戻り、いよいよ本格的に岩場の始まりです。岩のトンネルの胎内くぐりは、通り抜けると生まれ変わるそう

で生まれ変わりたい人達が次々とくぐります！ さらに国割岩、裏面大黒、大仏石などの奇岩を楽しみながらも岩をよじ登るのに想像以上に苦勞。途中雨も降りだしカップを着たりしながら、ひたすら岩を登り1時間、ついに女体山頂上！…ナンニモ見えません…そして驚くべき事実が判明。標高876mと皆さんにお伝えしていましたが、877mに変更されていました！！しかも変更は1999年…20年以上古い記憶でした、すみません。



女体山山頂にて

昼食後は、女体山で満足気味な体に鞭打って男体山山頂へ出発！途中で経験豊富な方々は声援を送りながらベースキャンプに戻ることに。アタック隊は最後の岩場をよじ登り、ついに山頂！…マツク見えません。ホシザキユキノシタのツボミだけ確認し、BC隊と合流。景色は見えませんでした、良いトレーニングができた満足して下山です。

しかし、これが意外に大変…丸太の階段歩きにくい、岩が滑る、足の置き場にこまる…そして長い！皆さん気分転換に休憩中は若い男性グループに絡んだり、ケーブルカーの線路が見えると乗せてくれと叫ぶSちゃん！すぐに賛同するSTさん…やっと筑波山神社に到着！

バス停で次の便まで少し余裕ができたので、余裕を持ってトイレに行っていると、何と臨時便

★大菩薩嶺(2022年6月18日)

参加者 会員(障害者3名、健常者3名)

甲斐大和駅を降りると長蛇の列。出発がやや遅れたが、最初のバスに乗れて一安心。雨は大丈夫そうだが雲は多く、富士は厳しそう。でもこのままの方が涼しくて良いねと話しながら歩き始める。

スタートは、ブナの混じるミズナラの落葉広葉樹がとてもキレイな緑で気持ちが良い。ほど

が！バスに待ってもらいながら慌てて乗り込みます。



クリンソウ

でもおかげで全員座れてゆったりできました。バスの中では、筑波山のその他のコースについて紹介。もっと長いコース、裏

から登るコース、沢沿いを歩くコースなど…互いを励ましながらいリーダーに協力してくれる皆さんと色々な筑波山を楽しめたらと思いました。ちょっとばかり大変だったかもしれませんが、印象深い山行になりました。ありがとうございました。

記：萬代

コースタイム

つつじヶ丘(9:30)…弁慶茶屋跡(10:30)…女体山山頂(11:50)…御幸ヶ原(12:10-12:50)…男体山山頂(13:10)…男女川源流(14:00)…筑波神社(15:35)

なく福ちゃん荘に到着。ここにも人がたくさんだ。

唐松尾根の名にあるカラマツが増えてくると、傾斜がきつくなる。岩もゴロゴロとしてきて、サポートするSさんが少し停止する場面もでてくるなど、Fさん、YOさんにはシンドイところですが、さすがのお二人！無事にクリアする。

ふと開けたところで振り返ると、うっすら富士山の左肩が見える！あきらめていただけに、テンション上がる。



ミズナラ林

いつの間にか周囲はトウヒやダケカンバ。雷岩はもうすぐだ。最後の急登を登り切ると、雷岩到着。振り返ると何と、富士の山頂が見

えている！ 以外に大きく見え、さすがの存在感である。



雷岩近くで昼食

昼食で、NさんFさんの珍道中の話などおしゃべりに花をさかせた後、山頂へ向かう。山頂は針葉樹に囲まれ眺望は無い。記念写真だけ撮り後にすると、いよいよ稜線歩きだ。ここを歩くと、山は山頂の眺めだけが全てでは無いことをいつも感じる。残念ながら富士は姿を隠してしまっただが、半分針葉樹、もう半分は草原という開けた緑の稜線が気持ちよく続く。登山道脇では鹿が水たまりをなめていた。全員で眺めていても動じなかったが、YUさんがちょっと近づいたら一気に逃げて行った。そこはやはり野生の鹿である。

稜線降りは意外に足元の注意が必要。岩に腰を下ろして降るなど、緊張する場面がいくつかあった。そんな中すれちがう人々の年齢が若い！しかもその数が多いことに皆びっくり。思

わず声をかけずにはいられないアルプのメンバーである。

そうこうするうちに、写真でもよく見る大菩薩峠へ到着。ひとしきり山座同定盤で楽しみ、介山荘横の公衆トイレでトイレ休憩を取った後は、整備された道を下山。道は難しくないが溝が多くあり、念のため一つ一つ声をかけながら跨いでいく。



大菩薩嶺山頂にて

ほどなくゴールすると、バスが臨時に出るといふ。そのまま乗り込み駅に向かった。途中雨も無く、日差しに苦悩することもなく、終始気持ちの良い空気感で歩けた山行だった。(虫だけはちょっとまいりました^^)



気持ちよい稜線を行く

※花は色々ありましたが、あまり数は多くなく、色も少なく写真がうまく撮れませんでした。報告の写真以外に、黄色のウマノアシガタやオレンジのレンゲツツジ（一株だけ残ってました）、薄紫のスミレなどもありました。また見た人は少ないかもしれませんが、帰りのバスからサルが数頭道を横切るのが見えました。鳥は色々活発に鳴いていましたが、ほとんどわから

ず残念…ちょっと写真が寂しかったので補足
です。 記：萬代

コースタイム

上日川峠(10:40)… 福ちゃん荘(11:05)…雷

★茅ヶ岳(2022年10月2日)

参加者 会員(健常者4名)

休日久しぶりの秋晴れの天気となった。韮崎駅の集合であったが、会員外の方とは連絡が付かず不参加と判断して、他ベテラン3名の参加となった。初対面のMさんと女性2名の方とは久しぶりの再会であった。

満員のバスに揺られ、まもなく登山口に到着した。各自準備運動して、出発。行きは緩やかな谷コースを登るが、石ころがあちこちあって少々登りづらい道であった。



途中、Sさんにこれお花よと言われたが、花びらが小さく連なった形なので見過ごしてしまうようなお花(写真を参照)であった。女岩の手前でひと休憩した後、坂をつづら折りに登って行く。Nさんは少し堪えたようだが、Mさんのサポートもあり頑張って登ってくれた。

トリカブトの花があちこちに咲いていたが、暑さのせいかわず少し萎れぎみであった。辺りの木々はまだ青々としていて、落葉していれば甲府

岩(12:20-12:50)…山頂(13:00)…雷岩(13:15)…賽ノ河原(13:50)…大菩薩峠(14:15)…福ちゃん荘(15:05)…上日川峠(15:20)

盆地が見えるのだが、今日は見え隠れしていた。

坂を登り詰めた先に、深田久弥の墓碑があり、花が添えられていた。ここから少し登ると山頂だが、途中で富士山や瑞牆山から先の五丈岩までを見ることができた。山頂では赤とんぼや蝶がたくさん集まっていて、これほど多く見たのは初めてであった。しばし休憩して、周りの山並みを堪能した。



帰りは尾根コースを下り、中間点付近でコーヒ休憩とした。下りは歩きやすい道なので、女性たちのお話で談笑しながら、下ることができた。時間はほぼコースタイムで、午後3時少し前に登山口に到着した。予定より早めの到着時間だったので、バスを待たずタクシーを呼んで駅に向かった。皆さん久しぶりの再会で今日一日楽しい山行となった。 記：加登

コースタイム

登山口(9:11-9:30)…茅ヶ岳(12:15-13:00)…登山口(15:00-15:25)

★高川山(2022年12月4日)

参加者 会員(障害者3名、健常者7名)

今年最後の登山で富士山がよく見える人気の山に登った。参加メンバーは私を含め今年最多の10名となった。



山道を登り始める

歩き出し初めに N さんが靴底の具合が悪いと言って、見ると両足ともに剥がれそうで応急措置としてテープを巻くハプニングがあった。さて今日は天気良く、高台に出ると対面に滝子山や眼下に街並みが見えた。以前個人で登った時は雪景色で見晴らしの良い場所だ。しばらく林道を歩き、登山口に到着した。



富士山が見えた

初めは緩やかに登るが、すぐに木の根が張った坂を登って行く。頑張って登ると、分岐に差し掛かり、歩きやすい迂回路の女坂に向かった。標高を上げると、三つ峠の山や冠雪した富士山

が見えて来た。日差しに当たると暖かく感じられ、今日は登山日和で良かったと皆さん喜んでくれた。



高川山山頂にて

背丈の低い笹路を抜けると、間もなく山頂に到着した。すでに山頂では人が一杯だったが、何とか座るスペースを確保して、昼休憩とした。ここまでほぼ予定通りで、大月駅を目指して下山を開始した。

しばらくして、岩場のある急坂を皆さん足を滑らさないよう慎重に下って行った。また、爺返しと言った急坂や枯れ葉の多い所があり、下りにだいぶ時間がかかってしまった。時間短縮のため、天神峠からのエスケープコースで田野倉方面に下山した。高速道路が間近に見える東屋で小休憩した後、田野倉駅に向かった。

電車で大月駅に向かい、予定より30分程早く駅近くの居酒屋で忘年会を行った。皆さん一同で飲むのは久しぶりで、来年に行きたい山やハイキング地などを話しながら、賑やかで楽しい飲み会となった。来年は定期的な計画を立てて、皆さんの活動機会を増やして行きたいと思う。

記：加登

コースタイム

上川乗 (9:50) … 登山口 (9:55) … 展望台 (11:40-12:00) … 峠の茶屋 (13:00) … 払沢の滝入口 (13:50)

★浅間嶺(2023年2月5日)

参加者 会員(障害者3名、健常者3名)

朝から青空が広がる快晴の天気となった。武蔵五日市駅前のバス停では登山客が多く並び、数馬 行きの臨時バスに乗り込んだ。

上川乗のバス停で降り、各自準備運動して出発した。行きは緩やかな上りコースとなっていて、登りやすい道であった。途中、左手には木々の合間から三頭山が見えた。



稜線に出ると広場になっていて、少しぬかるんだ場所もあるが雪はほとんどなかった。ここより展望の良い近くの展望台へ向かった。展望台では見晴らしが良く、真正面に御前山や大岳山を見ながら、ベンチで昼休憩した。御前山の反対側は奥多摩方面だが、Fさんが次は奥多摩方面から登るコースで登ってみたい話をするなど山談義で盛り上がった。

広い稜線を少し歩いて、払沢の滝を目指して下山を開始した。日当たりの悪い場所では日中

でも霜柱が残っていて、道がゴリゴリしていた。途中、山の斜面が広く伐採されている所があり、何もささえざる物がないため道を踏み外すと危ない箇所もあったが、慎重に通過した。



下りは沢沿いを下り、蕎麦処だった古民家を越えて峠の茶屋付近で小休憩とした。ここからは舗装された道路と登山道を歩きながら、払沢の滝入口付近に到着した。帰りのバスの時間まで約1時間 時間があつたので、予定通り払沢の滝に立ち寄った。滝は50%程度氷結した状態で中央の水が流れ落ちていた。滝壺の表面は固まったままで、F夫妻が興味深く手で触っていた。今回は雪道の心配もなく、小春日和の天気でのんびりとした山行となった。

記：加登

コースタイム

上川乗(9:50)…登山口(9:55)…展望台(11:40-12:00)…峠の茶屋(13:00)…払沢の滝入口(13:50)

★赤城山スノーハイク(2023年2月25日)

参加者 会員(障害者2名、健常者2名)

天気は快晴、とても楽しい雪山ハイキングに期待しつつ新幹線の特急券を購入し、いざ出発と思ったら、何とICでは新幹線に乗り換え

ができない！！切符の買い直しに四苦八苦していたらまさかの乗り遅れ…参加者の皆様、大変申し訳ありませんでした。どうにもならないのでレンタカーで気分を切り替えます。

赤城公園ビジターセンターに到着すると駐車場に車がほとんど無い。嫌な予感がしつつ、

覚満淵へ出発。すぐに凍った湖面に立つことができ、本当に大丈夫？穴開けちゃったらどうする？と言いながら、普段歩く木道を右上に見ながら進みます。鳥居峠に近づくと一気に風が強まります。何とか樹林帯に入り、本日の目標の小地藏岳(事前に当初計画を変更していました)の下でワカンをつけます。本日は、スノーシュー1名、ワカン3名です。



凍結した小沼を思い思いに進む

いざ直登と思っていましたが、どうしても風が強いので安全のため夏道に変更しとりあえず分岐まで進むことに。結局相談して稜線に出ることをあきらめ、小沼を渡って小滝を見に行くことに決定。(人が少ないのはこの風のせいでしたね)



腰まで潜った

小沼は全面凍結で、まっ平らな雪原を自由に歩けます。思わず笑みがこぼれます。ただ風が強いので表面の雪が吹き飛び、氷が見えています。いつもスノーシューの私は、ワカンだところこういうところを歩くのが難しいことを初めて知りました。似たような道具ですが、装着のタイミングはそれぞれ考えないといけないので

すね。

さて湖面を渡り切り小滝へ降りますが、中々たどり着けません。途中から谷すじが変わったため、ルートを何度か確認するもどうもはつきりしません。そこに前方から来る女性が一人、同じく迷ってしまったとのこと。そこで皆でルートを戻って降下点を探し、ようやく見つけました。ところがこの降下が急で(比較的緩やかなルートが後で見つかりました)、ようやく滝が見えるところへ。滝は、随分と下にあります。安全と体力・時間を考え、上からの眺めで満足して帰ります。



無事下山終了

帰りは、あちこちで道なき道を歩き、雪にはまったり、あえて壁をよじ登ったり…深いところでは腰近くまで雪にもぐってしまいます。下山中何度も雪にはまっていますが、これが楽しい！ 山頂を踏むことはできませんでしたが、赤城らしいどこでも歩ける深い雪でスノーハイクを堪能できました。

深い雪のコース選択には雪山の経験と知識が必要ですが、参加者として歩くことには技術も経験も必要ありません。なので、深い雪を経験したことが無い方にも次回は多く参加してもらえたらと思いました。お疲れ様でした。

記：萬代

コースタイム

赤城公園ビジターセンター(10:20)…覚満淵(10:25)…鳥居峠(10:40)…小沼(11:20)…小滝展望ポイント(12:40)…昼食(12:50)…小沼(13:40)…八丁峠(13:50)…ビジターセ

ンター(14:20)

★広沢山・大塚山(2023年4月9日)

参加者 会員(障害者2名、健常者2名)

まずは JR にやられました…ダイヤ改正によりホリデー快速が青梅乗り換えとなりましたが、何と2番線と3番線両方から乗れることに…たまたま私とKさんは3番線でFさんとYさんを探すけどいない…何とその二人は2番線で私達を探していた！ 合流できて良かった。ワンマン・無人化のJR人件費削減の影響をモロに受けました。



イワウチワに会う

さて前日までの風はおさまり、何とか持ちそうだけど湿っぽい曇りの中スタートです。このあたり一番の街だったという古里の歴史を聞きながら古い街中を過ぎると、いよいよ山道に入ります。ここから人工林の中のトラバースが延々続きました。やっと第一のポイントの金比羅神社に到着し、一息入れます。

再スタートを切ると、2m程度のスラブの降り、1m程度の足の置き場が難しいほぼ垂直の岩のクライムダウン、それぞれ短いですが、もしも滑り落ちたら切れ落ちた斜面を…なかなか緊張する場面を慎重に突破。その次にはヤセ尾根の急登！ やはり中々大変な道です。

そんな中、歩き始めから2時間、ついにイワウチワの登場！ ほんのりとピンク色の透き通るような薄い花びらを下に開いた可憐な花が、昨日の風にも負けず、ひっそりと咲いて

いるではないですか。周囲にもポツポツと点在し、儂げなピンクの花が美しい。名前の由来の羽団扇のような葉の形も皆で確かめ、さらに急坂を進みます。

最初の群生地からしばらく歩き、もうイワウチワを見ることも無いのかと諦めた頃、第二、第三の群生地が！ 花がとても多いというほどではありませんが、しっかりと咲いていたので、皆大満足。



大塚山山頂にて

さらにさらに、ゆっくりゆっくりと急登の末、ようやく広沢山山頂。少し遅めの昼食を取ります。ちょうど食べ終わる頃、少し雨が…カッパを着て慌てて出発です。降り始めはアラシでした。



ミツバツツジのトンネルに行く

大塚山ではツツジのトンネルをくぐり、開いていれば見事だと思われるカタクリの群生地を見て、御岳山駅に到着。今日は雨も降っているので、ケーブルカーで下山です。長い急坂に最

後は雨と大変でしたけど、最大の目的のイワウチワを堪能し、最後まで登りきれたので本当に良かったです。お疲れさまでした。記：萬代

コースタイム

★草戸山(2023年4月29日)

参加者 会員(障害者1名、健常者5名)

昨年活動再開第一号の山行であった草戸山。昨年より少し遅めなので花の様子もどう変わるか楽しみでした。そして集まってみると、久々に参加される方が多く、ちゃんと歩けるかがやや不安だという点が皆さん共通で、ゆっくり歩く事で意見が一致。花をゆっくり見れそうです。



クマガイソウのお花畑

さて、しばらく車道歩きをしたあと、山への入口梅の木平に着くとありました！今日最大の目的の花、クマガイソウ。見事に一面クマガイソウです。昔は高尾に多く自生していたと言われるランの仲間ですが、今ではこうやって地元の人の手で守られているものしか中々見れない貴重なものになっています。Aさんにも手で触ってその不思議な形を少し感じてもらいます。クマガイソウの間には、ホウチャクソウがチラホラ。それほど目立ちませんが、これも不思議な形で皆さん記憶に残ったのではないのでしょうか。さらに、遠くて写真に収められませんでした。エビネまで咲いてました。山野

古里駅(9:40)…鉄五郎新道入口(10:10)…金比羅神社(11:15-11:25)…岩回扇群生地(11:30)…広沢山山頂(12:40-昼食-13:10)…大塚山(13:45)…ケーブルカー御岳山駅(14:25)

草の花壇を作ることは時として問題を生じますが、こうして普段見れないものを間近に見られることは、やはり楽しく貴重な体験ですね。



キンラン

初っ端からとても楽しい花観察ができたので皆大満足。危うくこれで終了！みたいな感じになりますが、まだ登山道にも入ってません…

さ、出発です！

しばらく歩くと、傾斜がきつくなりますが、そこには斜面一面に咲くヤマブキソウ。昨年はニリンソウの白い斜面を堪能しましたが、今年は一面の黄色。中々見せてくれます。まだニリンソウも頑張ってます。



草戸山山頂にて

今回、もっとも長い急坂ではないかと思われる坂を登り切り、やっと西山峠に到着。これで

後は山頂までなだらかかなと思いきや、所々に急な登りが…でもそんな時、ジュウニヒトエが！タツナミソウだ！あ、キンラン！色々な花が出てきて楽しませてくれます。

そうこうするうちについに草戸山山頂！ やっとお昼をいただきます。今日は花も沢山ですが、おしゃべりも沢山。お昼もゆっくり談笑し、お腹が落ち着いたところで下山開始です。後は降るだけかと思いますが、意外にアップダウンがあり苦勞します。そして本日代打でリーダーを務めた私はふと、あれ？と思います。そう、何と山頂を出るときに違う階段を降りてしまいました！ 着いたところは方向違いの青少年センター。降りきったところで間違いを発表したところ、参加者の皆さんは新ルート開発だと笑って許してくれました。ありがとうございます。幸いバスもほどなく来て、ゆったり帰りましたが、里山にありがちなミスを…大変失礼しました。

★南秋川小坂志川(2023年8月19日)

参加者 会員(障害者2名、健常者2名)

アルプとしては久々、リーダーとしては初の沢企画。ここなら絶対に安全だろうと選んだコースですが、逆に単調すぎて楽しめるだろうかとの不安を抱えながらの出発。メンバーはYO・YU 夫妻と初参加のYAさん。YAさんは初参加とはいえ、サポートの経験があり、山も経験豊富なので、いきなりですがYOさんのサポートをお願いしました。

さて、入渓点で準備をして早速水に入ります。東京都内とは思えない透き通った水、足を入れるとヒヤッとしますが、冷たすぎず気持ち良い感じです。心配だった小滝(段差)も問題なくクリアできたので、安心して進みます。やがて少し深めの淵が出てくると、あまり濡れたくないリーダーをよそに、皆さん淵の中に果敢に突



Iさんのサポートで下る

今日は、風も爽やか、花も沢山、久々の山での談笑、そして皆さん心配をよそに最後までほぼ予定時間通りに元気に歩き、とても楽しく過ごせました。ありがとうございました。

記：萬代

コースタイム

高尾山口駅(8:50)…梅の木平(9:30)…西山峠(10:50) …三沢峠(11:40)…草戸山(12:15-昼食-13:00) …大地沢青少年センター(13:40-13:50) …上大戸バス停(14:10)

っ込みます。さすがにお尻までくると「冷たい！」との声もあがりますが、どんどん進みます。



ここから入渓

そうこうしているうちに水につかった林道に出合います。人工物ですが、ちょっとした滝になっていて中々良い感じです。その上はまっ平で、あまりの気持ちよさに水の中に寝転がるYOさん。しばらく休憩した後出発しようとする

ると、YAさんが枝を拾ってきてバキバキ折ります…はい、杖の完成！YUさんは最後までこの杖を有効に使って楽しみました。



膝上まで水流に浸かる

さあ再出発！もう水に浸かることに味を占めた皆さんは、胸までありそうな淵でもどんどん入っていきます。ふと振り返ると何かが流されていく！あわてて回収に走ります。そう、沢では流されたり木の枝に引っかかったり…ザックの外に出ているものがあると良くないことが多いですね。最初に注意しておくべきでした、失礼しました。

その後も波一つない広く浅い水面、ヤマメが泳ぎ回る淵、小滝が連続する庭園のような場所を進みます。YAさんの山菜話も盛り上がります。何度かヘツリ（沢の横の壁を伝って進むこと）にも挑戦。失敗すると水にドボンで緊張する場合がありますが、今日は落ちてもしざ上くらいだから平気です。果敢に挑戦しました！

そんな感じで、とことん水の中を進むことに挑戦して、ちょっと疲れたかな…というところで湯場の沢の出合いに到着。気づくと12時です。目標の半分ちょとしか進んでいませんが、今日はここで終了とします。お昼を食べて、沢のすぐ隣を通る林道に上がって戻ります。帰り

★月山(2023年9月16日～17日)

参加者 会員(障害者3名、健常者3名)

☆9月16日

は自分たちが遡行した沢を眺めながら整備された道をゆったりと歩きます。



水中に寝転がるFさん

今回、予定のコースより短くなりましたが、とことん水の中を歩くことに挑戦したおかげで、とても充実したウォーターウォーキングとなりました。沢には色々な難しさがあるので、初心者がどこでも行けるというものではありませんが、今回の様子を見て、このくらいなら、ゆっくり行けば十分楽しんで行けるということもよくわかりました。そこで、すぐに思いつくとても歩きやすく、その美しさに感動間違いのないコースがあるので、来年も沢企画をできればと思ったリーダーでした。

また、今回のコースは、初めて沢に入る人のための体験コースとして定番にしても良いなと感じるものでした。皆さんも、暑い夏、気持ちの良い沢で涼みながらウォーターウォーキングを楽しんでいただけたらと思います。

記：萬代

コースタイム

駐車場(9:30)…入渓点(10:00)…林道との交差(10:30)…湯場の沢出合い(12:50)…駐車場(13:30)

アルプとしては久々の月山山行です(前回は2012年7月)。前日に東京から高速バスで移動し、早朝の鶴岡で観光ライナーが来るまでの2時間ちょっと待ち。おまけに雨も降って気分

的にもやや疲れ気味。でも観光ライナーに乗ると徐々に顔を合わせたので話が盛り上がります。

登山口となる湯殿山神社で大きな鳥居をくぐって出発です。まずは本宮を目指して歩いているとバスが追い抜いていきます。皆が「あれ？バスで行けるの？」…そうなんです。でもそこは登山に来たのですから、皆文句を言わずに歩きます。



湯殿山神社の大鳥居にて

やがて湯殿山本宮に到着。ここでお参りするには裸足になってお祓いを受けなくてはなりません。でもせっかくなので登山靴を脱いで、参ることに。撮影禁止なので写真でお見せできないのが残念ですが、まずはお守りと人形（ヒトガタ）をいただいてお祓いを受けます。人形を水に浮かべ奥に進むと、大きな赤い岩が祭られています。そこでお参りをし、岩の横を登ります。濡れている急な坂を滑らないように登ります。熱い！温泉です。じっとしているとやけどするのではないかと思うほどの熱さです。なかなか体験できないお参りに満足しました。しかし、登山はこれから。靴を履いてさあ出発。

すぐに足場の悪い道が出てきて、月光坂の難所です。まずは水の流れの上を歩く水月光。次に大きな岩が現れる岩月光。そして最後が金月光。ここは鉄梯子が続きます。傾斜もきつく、登り切った！と思うと次の梯子。ようやく登り切りホッと一息。装束場で一休みと思いましたが小屋が見当たらない。どうやら小屋は無くなったようです。

しばらく進むと湿原、池塘が現れ、見事なリンドウの群生。思わず写真タイムです。さらに清見川では心地よい水辺の風景。水を触ってみると結構冷たい。そんな変化を楽しみながら金姥を目指しますが、少し手前の草原でお昼を取りました。これが正解！金姥はくつろげるほどの広さも無く、何より雨風が酷くなり皆カッパに身を固めます。ここではとても食べられなかったことでしょう。



エゾオヤマリンドウ

さて、ここからは柴灯森まで雨風を受けながら進みます。牛首のあたりは平らで風も無くホッとしますが、ここでYKさん脚がつってしまいかなり辛そう。何とかストックを頼りに進みます。そして鍛冶稲荷神社からの最後の急登。何とか登り切ってホッとしますが、あいかわらず雨と風。本当は広大な草原が広がっているはずですが、真っ白な中を明日の晴を信じて黙々と進みます。するとぼやっと建物が現れ、ついに小屋に到着！でも中に入る前に頑張って月山神社まで進み、お参りです。今年は予定より



月山頂上小屋で夕食

早く閉山してもう入れないということでした

が、しっかりお参りできてラッキーでした。

小屋の夕食は評判通り美味しく、山頂での天ぷらや山菜に大満足。朝食ではお味噌汁のお椀から2本のネマガリタケがはみ出て登場したのには思わずびっくり。ネマガリタケも美味しかったです。



2日目小屋の前で

☆9月17日

さて、二日目です。早朝は雨の滴る音や風が吹きすさぶ様子に不安な気持ちがありましたが、小屋を出るところには少し青空も見えてきて、雨もありません！でも風が強いのでカッパは着たまま出発です。



山頂記念撮影

まず昨日お参りした神社に到着すると立ち入り禁止の柵が…どうやら昨日のお参りは本当にラッキーだったようです。そこから山頂へ。ほんの少しザレタ急坂を詰めて、ついに月山山頂！かわいい山頂標識を持って記念撮影。三角点も確認しました。本当は西の方に日本海も見えるはずですが、真っ白。風も強いのでそろそろ降りようかとしたところ、一瞬にして雲が切れて目の前が開けました！写真にはよく写り

ませんでした。庄内平野と日本海を眺めることもできました。さあ、8合目を目指して下山開始。

降っているとどんどん晴れてきて、風も収まりとても良い天気。一面の草原、池塘群がよく見えて気分は最高です。途中白装束の方々が何やら遠くに向かってお参りしています。やがて法螺貝を一吹きして移動開始。月山神社本宮に向かうのでしょうか。



天気回復・木道を行く

ほとんどすれ違いの無かった昨日と違って変わって、今日はそくそくと人が登ってきます。天気の良さに加え、登りやすいコースなので、軽装の方も多数やってきます。おかげですれ違いが相当厄介でした。危険箇所は無いのですが、道が狭く、岩が多いので足の置き場に苦労することが多くありました。YOさんもSさんのサポートひもを活用する場面が増え、足を滑らせることも多くなります。YUさんもやや苦労する場面がありますが、脚の復活したYKさんやKさんの助言を得ながら降ります。後ろから追い付いてきた人をパスさせるのも場所を選びます。でも今回はバスの時間に余裕があるので、とにかく慌てずゆっくり下山しました。

それにしても素晴らしい景色でした。他の地域では針葉樹林が広がる高度なのに、1400mしかない八合目までずっと草原が続くのです。雪田草原とも呼ばれ、東北の雪の多い日本海側に見られる特殊な景観を存分に堪能しました。

下山後はバス・在来線特急いなほ・新幹線と

きを乗り継ぎ、途中余裕を持った乗り継ぎ時間確保で 8 時間かけて東京に戻りました。山や仕事や酒にまつわる武勇伝などなど、色んな話で盛り上がりました。新幹線の3列シートを向かい合わせて座ったのはいつ以来でしょうか。とても懐かしい電車の旅も満喫できました。



弥陀ヶ原湿原

★立山三峰(2023年10月7日～8日)

参加者 会員(障害者2名、健常者2名)

☆10月7日

前日に立山は雪が降って積雪を心配したが、当日の天候は良くなる事から山行を実施した。初日は曇り時々晴れで登山者も朝から結構多かった。



雄山山頂手前・完全に冬山です

雪景色となった室堂でアイゼン等を履き、いざ出発した。一の越までの坂を登って行くが、後ろを振り返ると登山者の行列が出来ていた。

一の越で小休憩した後、雄山までの急坂をジグザクに登った。途中下を見下ろすと一の越が

実は泊りの会山行初参加でありながらリーダーを引き受けてしまったために、色々と不手際がありましたが、参加者の皆さんが次から次へと気づいて対応してくれたおかげで、大きな問題なく実行することができました。本当にありがとうございました。 記：萬代

コースタイム

9/16 湯殿山参籠所(9:00)…湯殿山本宮(9:40-10:10)…金姥(13:00)…牛首(13:40)…月山神社本宮(15:15)…頂上小屋(15:40)

9/17 頂上小屋(7:00)…月山山頂(7:30-7:40)…仏生池小屋(9:20-9:30)…御田原参籠所(11:40)…月山八合目(12:50)

あり、結構高度感があるのが判った。雄山では神社でお参りした後、立山の最高峰である大汝に向かった。



雄山神社にて

大汝より先は本格的な雪山登山となるが、トレースを頼りに進んだ。大汝山の登頂後に休憩所で昼休憩し、次の富士の折立に向かった。富士の折立では岩がゴツゴツしていて、岩場から出てきたオコジョを初めて見る事ができた。すばしっこかったので、残念ながら写真に収める事はできなかった。

富士の折立の急坂を下る頃には、空が晴れ渡りなだらかな稜線の景色を遠くまで見る事ができた。別山南峰にたどり着いた時にはガスが

立ち込めて、この日は雄大な剣岳を見る事ができなかった。予定より少し遅れたが、剣御前小舎に無事到着する事ができた。



富士の折立から先の稜線

☆10月8日

2日目の朝は曇りだったが、空気が澄み切っていて剣岳や別山の山並みを見る事ができた。朝7時に小舎を出発し、直下の雷鳥坂で下山した。坂を下る途中で黒っぽい鳥数羽が飛んで行った後、また1羽が飛び込んで来た。よく見ると、雷鳥ではないか。空を飛び雷鳥も今回初めて見た。坂の名前の通り、雷鳥をたくさん見る事ができた。



日の出の剣岳

昨日登った立山の山並みを横目にしながら、坂を下って行った。雷鳥沢に近くなると、ナナカマドの紅葉ロードが続き、当初の目的の紅葉

★高水三山(2023年11月12日)

参加者 会員(障害者1名、健常者2名)

今回は参加者が2名でKさんとは久しぶり、

も見る事ができた。

雷鳥沢のテント場を抜け、みくりが池温泉に向かった。ここは中がきれいで風呂場の窓からは地獄谷や大日岳の山並みが見れる贅沢な温泉だった。



登山後の室堂にて

室堂で昼休憩した後、行きと同じアルペンルートで帰った。ロープウェイで降りる黒部平は昨日より雪が溶けていて、紅葉をきれいにみる事ができた。今回は雪山と紅葉が同時に楽しめて、剣岳や雷鳥なども目にする事ができ、大満足な山行となった。最後に、大町温泉からのバスで帰ったが、高速道がどこも渋滞で新宿には夜遅く着いた。参加の皆さん、想定外で色々な体験をしましたが、本当にお疲れ様でした。

記：加登

コースタイム

10/7 室堂(8:30)…一の越(9:40)・小休憩(9:55)…雄山(11:15)…大汝(12:15)・休憩(12:30)…富士の折立(13:15)…真砂岳(14:00)…別山(15:00)…剣御前小屋(16:00着・泊)

10/8 剣御前小屋(7:00)…テント場(8:40)…みくりが池温泉(10:00)・休憩(11:00)…室堂(11:20)

Yさんとは初めての対面だった。皆お揃いだったので、予定より30分早めにスタートした。天気は曇り空でこの季節らしい冷え込みとなった。私が登山を始めた年に登った山で実に8

年ぶりの山行となった。

車道をしばらく歩いて高源寺を過ぎると登山口となる。沢沿いの階段を登った先に大きな堤防があるが、全く記憶にないので新しく出来たのか当時の印象になかったのだろう。ここからつづら折りの坂道を登って行き、尾根にたどり着いた。坂道を振り返ると、そうそうここは登った道だと思い返した。Kさんは久しぶりの登山なので、少々疲れた様子だった。



岩茸石山山頂にて

尾根道からは杉林を通るが、階段のステップが大きいので、Kさんが歩きやすいように脇道を選んで登った。常福院の近くになると、赤い実を付けた草木が出て来て、Yさんにこれはマンリョウに似ているが、シキミで赤い実は毒だよと教えてくれた。常福院で小休憩した後、すぐ近くの高水山に向かった。ここから岩茸石山までの道は例年だと紅葉のはずだが、カエデの紅葉ぐらいでほとんど目にする事ができなかった。

岩茸石山の開けた山頂で昼休憩とした。景色は埼玉方面の小さい山の稜線が幾多にも重なっていて、どの山が何かは判りづらかった。後からあれが棒ノ折山や奥武蔵の山だと判った。山頂から下山を始めたが、ここは山の名前の通り岩の段差が多く、Kさんは少し歩きづらそうだった。

惣岳山の近くになると、木が伐採された山の



惣岳山の岩場を登る

斜面が現れ、独特の景観が広がっていた。惣岳山に向かう岩場の斜面が今回の一番の難所だったが、Yさんのサポ

ートもあって無事登り上がる事ができた。惣岳山からは少し下ると、二股に別れた立派なご神木が立っていた。沢井までの下り道は泥炭な道が出てくるので、滑らないようゆっくり歩いた。

沢井駅まで民家を通り過ぎる途中、この町の特産なのか柚子の木がたくさん実っていた。また、Yさんが教えてくれて、お茶の葉に白い花も咲いていた。花は珍しかったので、写真を取っておけばと後悔した。



奥武蔵の山々

予定通りの時間に駅に到着したので、澤乃井園に立ち寄った。KさんとYさんは手土産にお酒を買っていて、特にKさんはこれがお目当てだったようでした。私は川沿いの紅葉を期待していたが、色があせていてきれいな紅葉とはいかなかった。

最後に、この山はそれぞれ変化に富んだ三山を楽しめるので、改めていい山だと実感しました。Kさんお疲れ様でした。また、Yさんのサ

ポートと花談話ありがとうございました。

記：加登

コースタイム

軍畑駅(8:30)…常福院(10:10・小休憩)…高水

★大山忘年山行(2023年12月9日)

参加者 会員(障害者2名、健常者8名)

今年最後の忘年山行で代表のAさんが3年10か月ぶりに参加され、総勢10名の山行となった。天気は快晴で季節はずれの暖かさとなった。秦野駅からのバスは登山者の大行列で、臨時バスに乗り込んだ。



ヤビツ峠に到着後、準備を整えて出発した。少し登ると左手に富士山が見えて来て、標高を上げるにつれ富士山と丹沢の山々がくっきりと見えて来た。また、右手には相模湾と遠くの大島まで見え、眺望を堪能しながら歩く事ができた。途中、鳥の鳴き声がしてよく見ると、胸元が赤いウソがアオハダの赤い実を食べていた。

分岐点に合流すると、程なく神社の奥の院に到着した。山頂周辺は既に人が多く、電波塔近くで昼休憩した。ここは人がまばらで近くに富士山と丹沢の山を大きく見る事ができるお薦めの場所だ。出発時間を決めておいたのだが、皆さん最後まで山の景色に見入っていた。

下りは見晴台を目指して下山した。こちらも下山途中の眺望が良く、左手に新宿のビル街ま

山(10:30)…岩茸石山(11:00・休憩30分)…惣岳山(12:30)…沢井分岐(13:30)…沢井駅(14:00)…澤乃井園(散策)…沢井駅(14:30)

で見え、右手に大山に続く稜線や相模湾まで見渡す事ができた。日当たりが良いので、今日は少し暑さを感じる程の陽気だった。また、Aさんの歌も出始めて、通りすがりの方が反応するくらい気持ちの良い登山となった。見晴台には予定より20分遅れて到着したが、少し休憩して阿夫利神社に向かった。



阿夫利神社の近くまで来ると紅葉が一部残っていて、Aさんは何と仰向けになって写真を撮っていた。ここであらかじめ予定していたケーブルカー組と登山組の二手に分かれて下山した。登山組は大山寺に立ち寄ったが、石段の紅葉は見頃を過ぎていても人も少なかった。そろそろ帰りのバスの時間が押し迫っていたので、



ここから登山組もケーブルカーで下山する事にした。すると、前のケーブルカー組も乗って

いて、皆一緒に下山する事になった。



富士山と三ノ塔、右奥は南アルプス

ケーブル駅からは参道を通って、時間があればゆっくりと下るのだが、バスの時間に間に合うよう下って行った。帰りのバスも満員状態で車渋滞も少し気になったが、予定通り伊勢原駅に到着する事ができた。

最後に、普段登山されない K さんも頑張っ

★弁天山(2024年3月17日)

参加者 会員(障害者1名、健常者4名)

武蔵増戸駅から出発。今日は風も弱く春本番を感じさせる絶好の登山日和。

数年前の台風で壊れた網代橋が今も渡れず、山田大橋を迂回して弁天山登山口へ向かった。大橋の上から見下すと秋川には堰があり、釣り人が何人もいた。何を釣っているのか、しばし KU さん、F さん釣り談義。



山田大橋から

山道に入り、緩やかに登って行く。ほどなく貴志嶋神社を過ぎ、弁天洞穴へ。

穴は深いのか？中は？などと覗き込んでいた

て付いて来てくれて、皆さんお疲れ様でした。忘年会では新人の Y さんの歓迎会も兼ねて、大勢の皆さんと会を楽しむ事ができました。また、A さんの久しぶりの参加で山の話や歌で盛り上がり、賑やかな山行となりました。今年一年無事に終える事ができ、ありがとうございました。

記：加登

コースタイム

ヤビツ峠(9:30)…大山山頂(11:20・休憩 40分)…見晴台(13:20・小休憩)…阿夫利神社(14:00・小休憩)…大山寺(14:30)…ケーブルカー(14:45)→ケーブル駅(14:50)…大山ケーブルバス停(15:10)

ところ、遅れて追いかけて来てくれた TM さんと合流出来た。

十何年振りのアルプ山行参加との事で、皆、歩きながらいろいろ TM さんの話を興味深く聞いていた。



弁天山山頂にて

山頂に着くとちょうど 1 組の幼児連れの家族が食事をしていました。集合写真の撮影をお願い出来て良かった。

ここは場所も狭いので、すぐ次の網代城山へ向かう。広いテラス状の山頂でベンチもあり、あきる野の町並みが良く見渡せた。ここで昼食。弁天山よりこちらのほうが標高が高かった。

(城山 330M)

ここは昔の山城の本丸跡だったらしい。歴史に詳しいKAさんとTMさんが説明プレートを見ながら話をします。

階段状の道を20分ほど下り下道まで下りた。すぐ近くの小峰公園に立ち寄る。広場には一部の桜が3分咲き。

今回の山行の楽しみは「花」と紹介したが、実際にはこれ以外ほとんど花を見かけなかった。時期が少し早かったようだ。行動中すれ違った登山者も4組ほど。

山道はほどよいアップダウンもあり、静かな山歩きを楽しめた。

30分ほど歩き、最後の長い階段を登り武蔵五日市駅に到着。駅前のカフェで一息つき、帰路についた。皆さまお疲れ様でした。

記：酒井

コースタイム

武蔵増戸駅(10:05)…弁天山山頂(11:35)…網代城山(12:00-12:20)…小峰公園(12:50-13:10)…武蔵五日市駅(13:40)

ハイキング報告

★第59回ふれあいハイキング(高麗の里)(2022年5月29日)

参加者 会員(障害者2名、健常者4名)

「日和田山からエベレストまで」の言葉が刻んでありました。

アルプ再開3回目は高麗の里ハイキング。予報通り終日真夏日の強い日差しの中歩きました。

高麗駅で久々の再会を皆喜びました。まず、石器時代遺跡見学。規模は小さいですが住居跡が見られます。何故彼等はこの地を選んだのか?古の人々に思いを馳せます。



聖天院に到着

その後、高麗川沿いに歩き、日和田山登山口駐車場にある登山家田部井淳子さんのプレートへ。この山はアルプでも馴染みがありますので、田部井さんがここでトレーニングしていたという事を誇らしく感じます。プレートには



田部井淳子さんのプレート

次に聖天院へ。高句麗より渡来した高麗王若光の菩提寺です。境内は綺麗に維持管理されており、またここからは高麗の街を一望する事が出来ました。



中着田に到着!

そこから五分ほど歩き高麗神社を参拝。境内には多くの日韓の政治家が植樹してあり、朝鮮半島との繋がりを感じました。ここ迄で予定時間を大分過ぎてしまい昼近くに。コロナ禍で今は境内の休憩所で昼食はとれません。高麗神社を後にし、出世橋を渡っている時下の高麗川の河原から子供達の遊ぶ声が。Fさんの提案でこの場所で食事に。脚はかなり疲れていましたが、お腹を満ちし皆頑張って巾着田まで歩きます。途中、野々宮神社に寄り、ドレミファ橋を渡りようやく巾着田へ。ここから日和田山の鳥居が良く見えました。少し休憩後、高麗駅まで戻り

ました。

今回は道沿いの家庭の花々が美しかったのが印象的でした。また、彼岸花が無い季節の巾着田も緑が多く、川遊びも出来、魅力的な場所だと感じました。皆様暑い中お疲れ様でした。

記：酒井

コースタイム

高麗駅(9:40)…高麗村石器時代住居跡(9:50)…聖天院(11:00-11:30)…高麗神社(11:40-12:10)…出世橋河原(12:30-13:00)…野々宮神社(13:25)…巾着田(14:15-14:35)…高麗駅(15:30)

★第60回ふれあいハイキング(大谷石文化が息づく街宇都宮&餃子)(2022年10月16日)

参加者 会員(健常者3名)

今回は今年8月に計画していたハイキングを、コロナがだいぶ落ち着いたこのタイミングで実施する事となった。急な日程決定だったため、参加者は少人数だったが、快適な気温の中、宇都宮を訪ねた。



6年ぶりの参加というNさんとの再会が嬉しい。Tさんは前回の高麗の里に続いての参加だ。お互いの近況を話しながらまず宇都宮駅からほど近い「宇都宮餃子会 来らせ餃子本店」へ。ここで皆が注文したのは、一皿に6個の餃子で6店舗の味が楽しめるというもの。利き酒ならぬ利き餃子のよう。味の違いが少しわ

かるとの声もあった。

軽く昼食を済ませ、バスで大谷寺へ向かう。10体の石仏は平安時代の作で、千手観音は特に素晴らしい。宝物殿では縄文時代の人骨も展示してあった。これらは写真撮影不可だったため報告書に写真は無いが、大谷寺のHPで見ることが出来る。



次にほど近くにある平和観音へ。自然の岩壁に彫られた高さ27Mの観音様は世界平和を祈念して昭和29年に完成との事。Tさんと私は階段で観音様の頭近くまで登り、下で待つNさんに手を振ったりした。

そこから徒歩5分ほどで大谷資料館に到着。入り口にはおしゃれなカフェもあり、多くの若い人が来ていた。照明はあるが薄暗い採掘場内

記：酒井

を階段で降りていく。Nさんも慎重に進んで行く。内部の気温は12度。無風のためか覚悟していたより体感はずっと寒くない。広い内部では映画の撮影やコンサートも行われる事もあるそうだ。Nさんの眼鏡が気温差のせいか曇ってしまい良く見えなくなってしまった。Tさんは、観光用に場内を整備するまでかなりの予算だっただろうと感じたようだ。壁面には江戸時代から昭和初めのツルハシで掘った跡がはっきり残っており、全てが人力だった当時の苦労が偲ばれた。

予定通りのバスで宇都宮駅へ。今回は長距離は歩いていませんが、それでもそれなりの歩行距離になりましたね。皆さまお疲れ様でした。



大谷資料館にて

コースタイム
来らせ本店(10:45-11:45 食事)ー(バス)ー
大谷寺…平和観音…大谷資料館(12:10 着)

★第61回ふれあいハイキング（小石川植物園）（2023年3月12日）

参加者 会員(障害者1名、健常者5名)

開始が楽しみです。

ソメイヨシノ開花直前の小石川植物園を散策してきました。開花前というのに近所の家族連れが続々と入園しており、ここは隠れた人気スポットのようです。

ニュートンのリンゴの木はこの時期なので葉もまだ出ていませんでした。秋になれば林檎を見られるのでしょうか。



色とりどりの園内を歩く

まず、園入口の大きなソテツが植物園に来た気分を盛り上げます。薬草保存園を見た後、IFさん、IM君と合流。柴田記念館では来月放映開始のNHK朝ドラ「らんまん」の企画展がありました。植物学者 牧野富太郎がモデルのドラマで、小石川植物園で活躍したとの事。放映



全員集合

次に温室で熱帯植物などを鑑賞したあと、桃色、白、黄色に染まる園内をぐるりと回り、日本庭園でシートを敷き春の日差しの中昼食。IM君は皆と久しぶりの再会でしたが、すぐに皆に溶け込んでくれ、Kさんと歩いたり木陰で休んだり。とても嬉しく思いました。

Tさん、Nさんとも近況報告をしながら静かな都心の自然を楽しんだ一日でした。記：酒井

コースタイム

白山駅(10:25)…小石川植物園(10:40—14:00)…白山駅(14:10)

★第62回ふれあいハイキング(猿島)(2023年5月28日)

参加者 会員(障害者1名、健常者7名)

2019年度は雨で中止になったが、今回はようやく猿島ハイキングが実施できた。

横須賀中央駅で8名が集合し出発。Kさん、Tさん、NSさんは前回の植物園に続いての参加。NHさん、Fさんはこれまでに猿島に何度か来ているとの事。KCさんとは久しぶりの再会。以前のキツかった山行の思い出がよみがえる。KMさんと私は海なし県民。船、海、島の三拍子に気持ちが高鳴る。



横須賀中央駅前大通りは諏訪神社例大祭で多くの屋台が並んでいた。日本丸モニュメント脇を通り、三笠棧橋へ。

予定の船に乗り、約10分で猿島到着。船は若い人でほぼ満員だった。

今回は島内ガイドの探検ツアー(約30分)に参加。ガイドさん曰く、今日は人もさほど多くなく天気も良く絶好の猿島日和。連休などの時は、猿島が人島になり、観光客の重さで島が3センチは沈んだと(もちろん冗談)のこと。

戦時中の要塞跡(砲台跡)や砲弾薬庫跡の説明を受け島内をまわった。時折美しい鶯の鳴き声が自然の豊かさを感じさせた。高台で昼食とする。遠く富士山もうっすら見える。



棧橋に戻りしばし海を眺め、復路の船に乗った。三笠公園では三笠艦艇を希望者で見学し、日露戦争時の様子を学んだ。帰り道横須賀ポートマーケットに立ち寄り、駅へと向かった。

今回は人気の観光地を目的地とするハイキングになりました。運良く天気は良いが人が少ない日にたまたまあたり良かったです。また、理解が深まるのでガイドツアーを利用してよかったですと思います。参加された皆様、お疲れさまでした。 記：酒井

コースタイム

京急横須賀中央駅東口改札(9:45 発)…三笠棧橋(10:00 着、10:30 発 フェリー)—猿島(10:40 着)…島内ガイドと散策(10:50—11:30)…昼食、自由散策(11:30—12:45)…猿島(12:45 発 フェリー)—三笠棧橋(13:00 着)…三笠公園(13:00—14:15)…京急横須賀中央駅(14:30 着)

★第63回ふれあいハイキング(旧白洲邸・武相荘)(2023年7月2日)

参加者 会員(障害者1名、健常者3名)

梅雨の晴れ間の夏空の下、町田市の旧白洲邸武相荘に行ってきた。鶴川駅で1名の方が合流

出来なかった。残念だが4人で時間通り駅を出発。Mさんは昨年の筑波山以来の参加だ。久しぶりにお会いできて嬉しい。



緑豊かなテラス席

新しい住宅街を15分ほど歩くと武相荘に到着。ウグイスの鳴き声が我々を歓迎してくれた。表門には次郎が17歳で買い与えられたという愛車「ペイジ」が。

早速、寄棟づくりで重厚な茅葺屋根の主屋を見学。(内部は撮影禁止) 元は養蚕農家として使われ、その面影がよく保存されている。夏の着物や器など、夏の展示物があった。書斎には数多くの書籍があり、白洲夫婦がここで執筆していたのだな。

併設された小さなレストランで早めのラン

チ。皆エビが沢山入ったエビカレーを注文。次郎が好んだカレーらしく器もおしゃれでスパイシーだった。きっちり白洲次郎を予習してきたKUさんは、ワインとビールも注文し休日をリラックス。



武相荘の前で

その後、敷地内を軽く散策。KAさんによると以前よりずいぶん整備されているとの事。普段訪れない街の雰囲気を感じ、気分転換になった一日だった。 記：酒井

コースタイム

小田急線鶴川駅北口改札(10:15発)…武相荘(10:30・見学)…武相荘レストラン(11:30-12:30)…鶴川駅(12:45着)

各種連絡事項

▲定期総会5年ぶりに再開

新型コロナウイルス等の影響で令和元年以降、総会を開催しませんでした。新型コロナウイルスが5類以降になって1年が経過し

ましたので、久しぶりに総会を開催します。日時は下記のとおりです。都合が付きましたら、ぜひご参加ください。

日時：令和6年6月23日 14:00～

場所：八千代台東南公民館 3階ロビー

議案：第1号議案 2020年度～2023年度活動報告に関する件

第2号議案 2020年度～2023年度会計報告に関する件

第3号議案 2024年度活動計画に関する件

第4号議案 役員改選に関する件

編集後記

• 会長のつづやき

新型コロナウイルスの感染が下火になってきた 2022 年 4 月から活動を開始しました。リーダーには、加登さんと萬代さん、そしてハイキングを中心に酒井さんが勤めてくださりました。再開できたのは、リーダーを引き受けてくださった 3 人のおかげです。深く感謝申し上げます。

また、活動を再開したものの、「風のささやき」の発行や総会を開催しないまま 2 年が過ぎてしまいました。会員のみなさまには、お詫び申し上げます。

今年度からは、役員も世代交代して、少しずつ活性化していきたいと思っています。これまでの役員のみなさまには深く感謝申し上げます。また、これからの山仲間アルプを支えてくださる新役員のみなさまには、障害の有無にかかわらず、共に登山やハイキングを楽しむ山の会として継続していただけるよう、よろしくお願いたします。そして、これからの山仲間アルプをみんなで支えあい、楽しい会にしていきたいと思います。

• 次回発行予定は、2025 年 4 月頃を予定しています。

参加申し込みやお問い合わせは下記まで

〒276-0022 千葉県八千代市上高野 1161-1-208

山仲間アルプ 網干 勝

TEL.047-484-8308

障害の有無も、年齢も、男女も関係なく、みんなで山を楽しみたいね。自然は、誰に対しても平等だよ！！

